

令和3年度 第2回長坂地域委員会会議録

- 1 開催日時 令和3年11月29日(火) 午後7時~午後8時27分
- 2 開催場所 長坂総合支所 2階 大会議室
- 3 出席委員 伊部袈裟晴 清水太一 堀内るり子 清水伴正 秋山九一
清水清喜 眞道修 岩下邦博 北原 久 小松二三子 坂本利訓
矢野 望 小池英幸 (敬称省略)
- 4 欠席委員 向井伊三男 小池光夫
- 5 出席職員 長坂総合支所長 平島長生
地域市民課 市民担当 平嶋ゆかり
地域市民課 市民担当 小澤駿太
企画課長 田中 伸
企画課ふるさと納税担当 土屋直己
- 6 議 題 (1) 令和3年度予算使途提案事業経過報告について
(2) 令和4年度予算使途提案事業について
(3) その他
- 7 公開・非公開の別 公開
- 8 傍聴人 0人
- 9 署 名
署名委員 1番 秋山 九一
署名委員 2番 清水 清喜

1 開会(事務局)

2 会長あいさつ

3 議 事

(北杜市地域委員会設置条例第8条第2項の規定により、会長が議長を務める)

(1) 令和3年度予算使途提案事業経過報告について

(事務局から議案説明)

(議長) 委員に意見、質問を求める

(委員) 異議なし

(2) 令和4年度予算使途提案事業について

(事務局から議案説明)

(議長) 委員に意見、質問を求める。

(委員) 昨年度の審議会では、賛成が2名という中で、自分は賛成で手を挙げたが、その時不採用になった理由として、地元の方と一緒に桜を守っていくという意向があればいいのではないかということであったが、今回の要望の中にはそれがどこに書かれているか教えていただきたい。

(事務局) 地元の事業としては考えていないが蕪地区の皆さんに参加していただきたいという意向はある。しかしながら、桜の開花時期が牧場の最盛期ということもあり参加が難しいところがデメリットとなっている。また、要望書資料を見ていただくと、会では、公民館活動等を通して、桜祭りだけではなく、地元の方との交流を図りながら共にやっていこうと意欲が伺える。

(議長) 確か2年前までは、委員の中に地元の方がいて率直な意見をいただいていたが最近はどうか。

(事務局) 現段階では、地元の声などは聞いていないが、現在蕪班の班長を団体の事務局の方がされており、地元の会議において事業の提案をして一緒に実施したい旨などの話はしているとお聞きしている。

(委員) 一度認めて補助金を出すと、あちらこちらにもということが心配される。

(議長) 確かに、市内ではいくつかの桜の名所があるが、団体の強い意向が感じられたが。

(委員) 蕪の桜ほど素晴らしいところはない。観光名所となりうる場所である。個人の所有ということだけれども、武川の真原の桜も個人所有で有名。神代桜もお寺の所有となっているが桜の名所として有名。蕪の桜を所有している方は手入れができないから切ってしまいたいという中、それではもったいないと有志の方が会を作り、今管理をしてくれている。私は、地域委員会から出してあげたいという思いがある。

(議長) 他にご意見ありますか。

(委員) 最初に、6名でこの件について話し合ったとお聞きしましたが、それはいつどのような形で行われたのか。

(事務局) 例年ですと、予算について全体を集めて説明する前に、審議委員を集めて予算審議会を開催し、来年度予算について内容を精査した後に全体でご説明するということになっている。今年度については、コロナの関係もあり、審議会をせずに全体会をさせていただくことになった。先ほどのお話は、昨年度の審議会においてのことになる。

(委員) 今回の団体については深くはわかりませんが、地元の方が何とかしようとしているのであれば、考えの余地があるのではないかと。

(議長) 今回は、コロナの状況で変則的な会議となっておりますが、この場において決定をし、来年1月には市長へ報告しなければならない。他に、ご意見ありますか。

(委員) 今までの不採択になった理由がありますが、前回までの申請による改善策も要望書に書かれておりますし、蕪の桜を守りたいということで要望を上げてきた中で、公共性、公益性よりも、蕪の桜並木が蕪地区だけのものではない状況になってきている。長坂町の皆で守っていく中で、この団体が頭に立ってなんとかしたらどうかでよいのではないかと。前回まで不採択であるのであれば、何か条件をつけて補助金を出すということでもよいのではないかと。

(議長) これまでの意見を聞いた中で、それぞれご判断ください。挙手で決定したいと思えます。それでは、蕪の桜並木を守る会を新規事業としてよろしいと思われる方、挙手をお願いします。

(全員挙手)

全員がよろしいということで新規事業として決定いたします。

それでは、令和4年度の予算配分について事務局より説明をお願いいたします。

(事務局から予算説明)

(議長) 何かご意見ありますか。

新規事業団体について、特に条件をつけることに対してはいかがですか。

(委員) だめというわけではないので、特につけなくてよいと思われる。

(議長) 特に条件つけずに決定ということとします。

(4) その他

(事務局から北杜ふるさと祭りの在り方について説明)

(議長) 今までのような委託会社へ頼んだり、飲食が多いものではなく、手作りのお祭りが出来ればと高根では考えている。長坂としても、いただける予算を開催地で使えるお祭りをしたいと考えている。皆さんのご意見を伺いたい。

(事務局) 市長からは、長坂の北杜夜桜祭りや、BONBON 祭りなどは、手作りのお祭りであり、参考としながら進めてほしいとお話をいただいている。

(委員) 例年と同じ予算の中で、会場が人工芝で利用が難しいことなどを考えたとき、今から30年前に始まったオオムラサキ祭りは、手作りであった。それから開催に連れて大きくなって、警備会社やイベント会社も必要になってきたと同時に、予算規模も大きくなり、長坂と高根で合同となってきたわけですが、基本に立ち返って、子どもからお年寄りまでが参加できる手作りのお祭りを再構築することが大切である。会議をしてじっくり検討することが大切。する、しない、ではなく、人工芝がダメならこうしましょう、日程はこうしましょうと、いちからじっくり考える時期に来ている。皆さん忙しいとは思いますが、話し合いの場をたくさん作ってほしい。

(議長) 他に、意見ございますか。

(委員) 手作りのお祭りをみんなで工夫しながら作り上げていくには、何回も会議しなければならないが、昔に立ち返ってやっていかなければならない。また会場の問題だが、トラックのところにテントを張れるのではないか、その辺を考えた時、別の場所に変えた方がいいのか、今後みんなで、それが難しければ実行委員会で検討していく必要がある。

(議長) 他に、ご意見ありますか。

(委員) 最近はお祭りを市で見直そうという動きがあり、武川の米米祭りや須玉の源氏祭りを見直して3か所で花火を上げたり、各町で色々と考えているところではあるが、こういったことができるのかできないのか、各町で検討段階である。市当局ではどう考えているのか。また、合併時、長坂と高根が一緒になってスタートした中で、大泉町とも考えたけれども、大泉町は単独で行くという経過があり、こういった努力を記憶しながら長坂と高根の場合はしっかりやってほしい。

(議長) このお話に対して、市当局からはどうか。

(企画課長) 来年度予算については、例年通り夏祭りの予算を計上しておりますので、ぜひ開催していただきたい。ただ、コロナ禍において、今まで通りの祭りは難しい。手作りの祭りということですが、特に長坂の名水と国蝶オオムラサキの里祭りは、市民総参加、手作りのお祭りであったと認識している。ぜひ、手作りのお祭りを開催してほしい。

地域委員会の祭りについては、今後観光的な要素が強いものについて仕分けをしていきたい。整理をしていく中で今後のイベントの在り方を皆さまにお示しさせていただき、令和5年度以降の方向性を出していきたい。またその時には、皆さまの意見をいただきたい。

(議長) 何かご意見、質問等ありますか。

(委員) 長坂総合スポーツ公園サッカー場の利用について、噂でしか耳に入ってきていませんが実際はどうなのか。

(事務局) 今回会場が人工芝になり、そこへ入る時には砂を取り除いてから入らなければならない、またシートを張らなければならない、飲食はできないことから持ち込める物が限られている中で何かをするのであれば、養生をしなければならない、また尖ったものも持ち込めないということから、それらを利用する場合、相当の経費がかかることも想定される。花火大会については、今までと同じように上げることは問題ないとされている。

(委員) 今までのようなイベント会社に頼むイベントは今年からできないとするならば、なぜお祭りをやるのか、と一番初めに立ち返らなければならない。お祭りの予算がなくなったとしても実行委員会を立ち上げてやりたいという話を聞いていたので、やりたいんだという強い力が必要なのだと感じた。今オオムラサキ祭りに立ち返った場合、高根とも一緒に協議をしていくということだがやっていけるのか、可能なのか。

(事務局) 30年前から始まった名水と国蝶オオムラサキの里祭りは、7月のちょうどオオムラサキが見られる時期に合わせてやってきた。その後に、長坂総合スポーツ公園において行われるようになった。合併後、地域間の交流をして開催できないかという考えがあって周辺の町に呼びかけたところ、高根と一緒に北杜ふるさと祭りを行うようになった。今年度は中止となってしまったが、国蝶オオムラサキに関わる事業を行っている団体もあるので、地域の特性として今後も進めていきたい。長坂と高根で今後も新たな交流の場として地域委員会の皆さんがよろしければそういう形で継続できればよい。

(議長) 自分も名水と国蝶オオムラサキの里まつりに関わってきて、手作りであった分、とても大変だった。準備から始まり、終わってからの片付けまでと、大変でしたが何とかやってこれた。高根とは11回一緒に祭りをやってきた。その体制は壊したくない。しかしながら、地域委員会の委員が祭りの実行委員会をやっており、これは地域委員会が受けるものなのかという思いが今まであった。地域委員会とは何なのか。いずれにしても、今までやってきたことはプラスである。今までの会場で今までの祭りができないということは、皆さんご承知いただいている。地域委員が手作りの祭りを考えていくことでよろしいか。
他に、何かありますか。

(委員) 要望一覧表の字が小さくて見えないので、枚数を増やして見やすくしてほしい。

(事務局) 了承。

(議長) その他、何かありますか。

(委員) 特になし

(議長) 他になければ、議事は以上といたします。

6 閉会

会議の経過を記載して、その内容が相違ないことを証するためここに署名する

令和 年 月 日

会議録署名委員

会議録署名委員
